WA9
(5)
10

好色一代男　8冊　WA9-10　05-001
国立国会図書館

好色一代男

巻六目録

三十五ノ
三十六ノ
三十七ノ
三十八ノ
三十九ノ
四十ノ
四十一ノ

アヤキ
15.1.22 国会図

好色一代男　8冊　WA9-10　05-002
国立国会図書館

三十五

浮世の夢法けてよぶ

こゝをとゞめ花なき里にかしまはり。吉野は志ぞの山にうつしてと。ある人のよめりなきわ。まで名残のこしたまゝせんだいこれんのゆうぢよなり。いづ事をひとつ。何しきとゆべき所なし。なきけ身ふかし。こゝに七条どをりに。さるがれこさんはかとゆ。小がさかうちの身子。吉野をみそめて。人志ぬ我恋のせきかりによひくのごとれ志るまうらて。お十二日に年三歳。お三の君をこめて。いけぞの時節をまてどもろたんがくものよすがもなく袖の志ぐれは神けて。見たがりはいつかり取。ふいごまつりの夕ぐ事に立志のび。およじぜとのおよばざるなと。身の程はとらぬ道となげくと。ある人の志ぬ志くせた事は其人へふびんと。ひそかに。よびい事。人の程をかこしせたるに。身をふりして。前後をはすまじ。うそよぶれたるかなよりなきぞこをこがし。しわり

かゝるさはらず。いつの世にか。ひゝの祿がいも見返と。庭をこそよけてゆくとさりと。我同じやめて。とりしびをふきけし。おびもさうにはさきわけ。此のぞこに身をまかすと。色くなりこをりこへてもかの男子をせきて。こゝさりめんの志をおひ。さ程かけなすがらぞれやまいるとをきるを。引しめばらなくて。我ながらけてこかへさし。さりとはそなさも男でいなひ。吉野がちくのこゝに多くながりて。むなしくかへらるゝと。さきれ志をつめりりとさまり。くびはとぢをうごかし。よいごしをこそやり。ひ今事より。梶を定。ぞうく宮のりのなるさきとうやかうやくのしなりにらちわけさせて。其上にさうづきまてしてかへまじおけやすりにうめて。見ハ何まりなる事志なるとゆせバ。そしかはけ志りの。世ゝ母さ母なるまゝなるにかくしにしおのくのとうにはとゆうちはよふけて母さ母の事しとゆ。古文

好色一代男 8冊 WA9-10 05-003
国立国会図書館

さていきの志ひとがくまいそまてくそ女郎のおもてこなれ
まこうすれしと。其夜まいかにりこそ。よしのどうけざしおく
さゐとなる事。そなはいてい中しがらん。せるのまを見なら
ひ。其いしこさのちの世を移し御のなをざんなとのこ
所のをいけまなり。たちこもおさらいなれバのこゝまりぶし
まけて。今まに今すぞうし。是を一ツ中よりいろちなるぬ
るとて。こかぎりしを。吉雅が男はしてかゝはしくばいけんや
おいとゐこひて。ぜめてハ此下屋敷に。遊せらまてなりふ
のれりよひ女郎とやせた。中くにさくまけりなしさをあ
らハ。此一ツさゐの此中ハ。まこうしなれしやしとりふ。出家
社人のおつかいをもこさかぶるりのとも。いかしてと仰るま
けく。ゆる。吉雅ハいとゐこうせて。かへしは今迄のこをりまと。れ
しこんをさけらまふハの花さくをさかりなまハ。女中がこや

入ふ夜のよし。室ハ恥つるされけるふ。御ふかあくみふかかしと
其日のり掛とも今くぶしく見まてら遠。浦さ山のかけたり
大志よ忘んよるゝあて。酒をなるゝ見合。吉雅ハおさ所のぬのこ
よ。赤木へ出をこさまねらいをして。なぎよ切のしれしりを
を持て。中でもおくをを寄きこ方へ。まをつゝえゝ。こうハ
三まぢ所よまたし。吉雅とや。越女かゝるお座敷に出るハ。とい
ゝへなく。今日此ひまをやされ。里へかへるに名ぞりまじ
を今に一ふしをとゝへバ。さへの事。とひ起ることをよみちやハ
志ゆしく。そてなし。花をいまの程さけいを志かけ道を
むまとめるなまのかをなるで。付。碁のおあいてよなりしかう
をふさ。むまう。嘲しるいしやうす。よろづ人さゐのさをこれ
るゐゐだかし。かりて入バよび出しよしのひとりのりてな
まざ中立付を三ツ。夜のあげ方よ。めいく宿よかへり

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

三十二

好色一代男　8冊　WA9-10　05-005
国立国会図書館

好色一代男　8冊　WA9-10　05-006
国立国会図書館

じごらくまおびゆりくけしやうも目ごろ好ましてよし
ゆしたまさしせんをゆざり。げをふりてうたひたる。立志の
ものいひきかさ。為たふひのうたたらうぶの思うし。むまりふ
そりすしやのむとこ。ごどいなのうろさ者。悪もしるまもも
むしやうやまゑ。えしりおしなるまるうち。あるいハこだりを
とがめ。よい男ごそ。一町ま五所のそんやも。ふむのさくれづさん
をこれの。たおりがえんぬのと。たださんがしくさぐ紀がくしてて
かさんぐぬぎ。ふとうろまたみねぢ。ままたしはとりぼ所の色
町をいさりいのだまするぞ也。命もしぐ漢のより合。身れ持
たるものゝ。おゆく所まわらぐ。おるぐるあげやま。ひらさく
少年まさくのみなとゆめて。おりしろふあそびて其ゆ
けの日ハかぶ丸が。立酒さいたいせきおりとて。かしの女
郎ひとりものてさず。一日がいと。[illegible]。おもさるし

好色一代男 8冊 WA9-10 05-007
国立国会図書館

好色一代男 8冊 WA9-10 05-008
国立国会図書館

ゑいのまぎれに二人のかぶろが何そこを。[illegible]のぞこまよ
ゑせて。まいらすべし。なひくに。このめといふ。[illegible]
に。[illegible]。ひとつを。[illegible]
たのりけれ。[illegible]
るさのぶくなり。三人一所にひろを。[illegible]
かさりちをやりて。それをすくさみにしてゆくとすらば
と申候。そこそ何よりやすれ。のそこなまと。そくざまのり
この式ちやうなるべて。中の[illegible]
がいそとぢ合。中にひぐらを。[illegible]
抱びやうぶまぬ。いけまでいまして。六人十二人すぐ
まそ。ちいされり。[illegible]
バなる抱だりし

三十七

よくの世中に先文

本朝遊女のちゞまりハ。江刀のあさ[illegible]
津よりすをうりて。今ハ[illegible]
いけのあ[illegible]
なる男ハ大おこを引て。[illegible]
一のこなと。遊女を背[illegible]
にかゝらずとのぶ[illegible]
さそひとく。同しあらん[illegible]
がせ。其夕暮のそらかだりして。[illegible]
まづハいりをなるさせたり。[illegible]
は[illegible]ハ十三日[illegible]
まして。がんの[illegible]
かづき。女ハなけ[illegible]

好色一代男　8冊　WA9-10　05-009
国立国会図書館

りて立ちるに。先ハ故をよくぬる。一せん二せんこそ下語
しに。今の女前よりへにとなげきてゆく。昔ハいかなるか
ものぞとゆし。世ゝ母は女の心のとおぼろき。根子の我
きけハかく主を取きへの出来女なり。請ぐしてまくよ
丹波よりぬゆきぐこ志らぬ

三十八

令さてくのひかり抱

ひらにまろし四ぐるひも。抱しろい抱じやと。世ゝ母をさ
ぐすめく。まうぜんよ。さそひ。けいこのうるさく。人の心を
ゆとハ。今主のまゆせ。あげふのをと。志やうじんだらてぎ
けものまれず。さあこなが。ふんだり所。何としゆるぞ。なしハ
かかりて。五川伊勢甚郎ゆへとりよせよと。宮川町よ
たやかご。国をふる内よ。ごぎりまして。先を見とハ。いやと
いりくるか。あるへとへくやせしハ。やろうりてあそびハ

ちりかゝる花のりとに。おかゝごのねてゐるこどし。けいせいよ
なじむハ。ひくるか月のまへよ。ちやうちんのるひ心そりし
とハ。いかなる人をしさらまゆまよしゆへし。よをまとがら
ゆめをむまぐハ次。抱おどりよひ手をして。だいまれし
あふきさ門。あんこよびて。花の話とまたおろとなりて
ちちさわぎ。何ハあせこげよなして。風まゆなよ南か
りてよ出く。おりふしさつきのそくらかり。よくらるハ
のみたしよ。板木の国ゞが。志けりのもこだより。がぐあるま
ひかり抱れのくなどろき。くるまうだやうよかけこみさ
をさりしなひ。あるのハふしまろびぬ。中まを男ひ
とりといまて。さとうしゆこぶなる者。たんさうの
名のもこの。矢の福をほがひ。ゆ道ゑんよりりよ。さひ
おりゐるを。こきけ山こうとや。お人請ぐさて。は男を

好色一代男 8冊 WA9-10 05-011
国立国会図書館

われらめとハ、何者ぞ見せよ。さむらひのすがたをわすれ
きぞかし。まぢかくまたするやしとぢとろくるゝな
本望けれ。ゆるさせてあらはにまへハ、なうそとりのさ中のご
とく又一かうまりまいらする抱らうどこさぬ。山三郎
おもしろきあだいけ中や、何者とぞんじをかゝれハ、抱もし
此うへみだりにかやうさくにうつてたのもしくはてさめへえ
むりやうにまたされて此とあひそめし。なりとおもひハむかしにせ
またつもる所の思ひほのぼのと、ついでかさなりてのうきことも
今さらともぼうでかぞへて、袖よかつまでハゆびまのでしかし。抱ハ
さまおもしろき連歌やまのふ。さつあまてかたよし。毎日来ぞめて
此おもてげに抱みがやかりの法わてよきのひ内々よ
ふしぎにぞみえて、附。志ふ今すいくさひふ。六条
への此ぎやうと。あんがらずぞもひそめてもさくて今で

ちいさし。首ふりて浮世の婆娑わけむかし見るまごとでじ今まの
ぞり。恋をれとぞんかうとまず。思ひへのにぎし。ふびんなを捨し
めされつ。なのさわとあらく、二度への流るう。水鼻のさゝぎを
をまとめるさそこそ、どひ会釈するすゑ。ところをおそろしよかれ
バこそ。いやし。見るんを見初て、はやまでもかねひ。一会がよ
ふところ色をまいりて甚まて、そのめぐし。我をそ高べ
こさ此のそこふまろせんべし。今歌のわくなまちくめへ
あのへかるすくに。きる高まりしとん、くさくろへまそたへ
まわとが法まで。大鏡と見まり。いらくしおもひもとき
山三郎くうちをさてい法蔵、福子をみぢかる事、三寺の同宿
なりにけりこの志んてハ恋せられるぞと。世々母となりから
てんまる世よわかするに、のちにまし、つがいりだまん
てかくあしうかんまさらふい、ひとりのかのみのおけ

い一大事といまだかくろ臣しいかのちうしをけいじゆんとか
けると笑やしけるまでしけすきへやしやまじまとよさん
げ出せし時何かくまべしと浪く山さ郎身のうへのる
を むりしと今よしちうくんしてかくりぬ却じや

三十九

一日かして何程が掛ぞ
堺乃浦の様ぶいぢびきをさせてくいさくさちくと見
せんと京ゆくくおけ事ぶだりながめぬ新まつしやめし
法事法りのうえやし移るくさくこのちしよいまだ
さとの色町中の丁袋町よ法さく加事見よせくみるま
てもしりぬし何ゝ夜殺よびていくらの掛ぞ天神小天神と
せちがしまくさらぬ夜ぶいの座ぬよ思を定め酒をいまだ
まへぐよかまくぬ内よかづくれ角ちよりとかりまやうと
いふぞや立てゆく又女出てくる侍角とよび立つざれ法け

好色一代男 8冊 WA9-10 05-013
国立国会図書館

好色一代男　8冊　WA9-10　05-014
国立国会図書館

好色一代男　8冊　WA9-10　05-016
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

好色一代男 8冊 WA9-10 05-017
国立国会図書館

女房はそんなうのあるよていと申せば其まゝ吉原の
かの事さまよいさらいとしふよくもみるものなそまにはせ
てはくらせ給る此女房を去大臣のあるのびて三人同し出立よ
て市場の座敷通て此内は四方のかゝ御さらづきをとりせしよ
はこしもせの後にて秋のうぬ身なれば御ゆるし給へとかけてへ
立てかぶるよさゝゆきこまがいのうくいまをとりたるさもよ
ハ山よけいしくやくとこゝ心をたる三人一度に行かと思ひ
をあけて立出る所を猛子見まして本大臣殿へさらづき
をまいらせそろ此首尾いづ道をなめて ひそうにたつ申れば
三人ながら今日そめのりめんさびたられしよ ひとりもな
をさとれのあとなるさ御かゝあり ち紙ふこゝ毎日ぬ御かゝ
さぬいろ母あもと ちひさしせしとなる利

早一　今度へ志りこのでこもの
見ぬ所もいれど おんぞくのけいせいのかけて折しかゝぬよ
ありたてくのかりひよりさいたいよなふんえんのうし道や
ミをぼくしもちゝのよりて三ん屋よつきぬ むりしハ夜
数女ありて おもぢよかりしふ 出ろのまゝさ筆とうこひしう
そまもゆあなれや あしのうんだよ秋のたつかせをとけれて
ふへ志報世ろたでゐるあしさりなく 天下の町人の思いでよ
出府ふ国の内よ 出山ふ山ふ山ふ 小僧寿ゝ並同梅ゝ山など 元
のせくゆくがしこふハ松鶴ゆ孫 坂田小僧須志事川かりの女
さらづき入目紙わくそひなくこゝらさらづきもこゝらよし むら
いのさしにハ松本ゆ[illegible]ぞ志りし鶴川そめのぜりし山本りん太郎
恩田吉千郎さかさしのべくたぜ弱ぶぜいかりめんさゝぶきの
かりゆどのさいまでさのいけふ ひるハらく書して ゆゝあ

好色一代男　8冊　WA9-10　05-018
国立国会図書館

よ扇なりし。我ハ大なるびのうつり。おのづと天をあらり。いやゆきさ
出ふなわそび東の山まいまさりしとぞいひ。目をもとを見せてし
ゑじのたくやのうするべよりへくぞいとあざうまいをとこれ
みしいげこのたくぬるなるやしひとりなる口なれば大坂のとう
ほうの内よ一日やらうもよしやそふのうらゆりさたといふ
ゑをこさいく世そ毋でハないかこれじや小食よかつひかくるく
男とは志くなんと其後ハ上ものぼらぬかまいたるまを
をゆるぼふ口へといふ何なしよのりうつりて皆あらゆを
こさ浜さ舎ゑ志ゆさをん付の小さうつきあて。そんかりのことや
かくといふうらよ。思ひしよりあて。ゆきとしいふよあく。不へかざ
りと思へくかへらり。是吉雅。我の親じやとびじ口より入て。
そんのよし田やよりハざい和よ。ほかゆへ取る男が白ささぬ
ちぶみよをこうろ付て。ひろ雅さて。女房たをまうるいよよび

けるおなるふ何者かとさけだ。こまのとて屋といふ。此二三年も
こそてていしや刀志くぬをわさしいそまハ何るも。おなるの
まんりで。らちがあく。まりえやのらちハなんでを目とくるさ
へ。女房なくバかんぬんまると。おまる物あるれどよびやる。世
毋浜いよりさぬのぞこさるてん郎を。此家から様子ありとそれ
を名ざしてとりよする。大二ういよわがれば。るこのそうよりかげ
のさし入月をむりし。家ふかどの三郎などがわひし。大夫帝
ありしが。宮ハ宿舎のるをこうりと。かくのこしたりよ。祭りぬ其退し
ハ。宮へのなりがづく。ゑ志よぬんすぐりひつかかり。我さぬくのかゝ物
なるこをきさまて。かまどもだれがひとりまゆくぼまこよ。今
ハ本物もくゝ浜。などこわけてゆくやらこさせるがゐんえぬるよりを
やかぶろハとくぬ筈と。わりしふかくぬちなしまる内よ。ぶやう
其ハ三味線のをかれ。ん志た。小判の浜いてよなんでをひきん

好色一代男　8冊　WA9-10　05-019
国立国会図書館

好色一代男五之終

好色一代男　8冊　WA9-10　05-021
国立国会図書館